

会 議 録

会議名	小国郷医療福祉あんしんネットワーク全体会(6月)		
開催日時	平成 30 年 6 月 20 日(水) 19:00~21:00	開催場所	南小国自然休養村管理センター
記録者	小国町地域包括支援センター 矢羽田		
議 題	1. 「連携～さまざまつながりとコミュニケーション～」 2. 認知症カフェ「ひとよこい」チームから 3. 連絡事項 4.		
出席者	あんしんネットワークチーム員		

No	議 題	内 容
1.	「連携～さまざまつながりとコミュニケーション～」 (前半) 連携に関する共有したい情報を事業所からは発表	<p>「連携～さまざまつながりとコミュニケーション～」 (前半) 連携に関する共有したい情報を事業所からは発表</p> <p>小国公立病院 診療報酬と介護報酬のダブル改定が行われた。 地域包括ケアシステムの構築の説明。 住まい、医療、介護、予防、生活支援を一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築の実現が求められている。そのためには、同じ価値をもつネットワークが大事である。公立病院はいろんなところと連携しているが、農協とも連携していきたいと考えている。 最近では看護師と保健師の連携会議が行われるようになった。 平成30年8月から地域包括ケア病棟を導入する。75床のうち19床を地域包括ケア病棟として機能していく。 どういう人が入院できるのかは ・急性期が終わった人・在宅や施設でちょっとした急性期（肺炎や脱水等）の人・レスパイト機能等なんでもできる病棟である。 今回の改定では医療と介護の連携が重要視され加算もつくようになった（介護支援連携加算 カンファレンス等を行う必要がある。）</p> <p>おぐに老人保健施設 新規 再入所時栄養連携加算・・・入所者が入院し、経管栄養や嚥下調整食の新規導入など入所時とは大きく異なる栄養管理が必要と場合について介護保険施設の管理栄養士と医療機関の管理栄養士が連携して、再入所後の栄養管理に関する調整を行った時の加算（400単位） かかつけ医連携薬剤調整加算・・・多剤投薬されている入所者の処方方針を介護老人保健の医師とかかりつけ医が事前に合意し、その処方方針に従って減薬する取組についての加算。入所時に比べ、1種類以上減薬できて場合（125単位） 栄養スクリーニング加算・・・管理栄養士以外の介護職員なども実施可能</p>

No	議 題	内 容
		<p>な栄養スクリーニングを行い、介護支援専門員に栄養状態に係る情報を文書で共有した場合の評価加算。利用中6か月ごとに見直しを行う。介護支援専門員にケアプランに記載してもらう必要がある。(5単位/半年に1回)</p> <p>退所時前連携加算、訪問看護指示加算については従来通り</p> <p>みどりの里 通所介護については、今まで5時間以上7時間未満の算定だったが、6時 間以上7時間未満となり1時間ごとの単位数となっている。 訪問介護、訪問看護については、朝日が丘入居者にサービス提供を行う場合は同一建物等居住者サービス提供になるため減算される。 地域密着についての加算は資料の通りである。入所者が60日入院してしまうと介護報酬がとれないので、できれば早めに退院させてほしい。</p> <p>なごみ ショートステイができるようになった。なごみ18名、森園9名の枠外1名のショートステイの受け入れができるようになった。 対象となる要件は、介護支援専門員が立てるケアプランにショートステイが位置づけられてない。または災害時や緊急時に利用することができる。</p> <p>リスタ 栄養スクリーニング加算がつくようになった。事業所に所属していない管理栄養士と連携して栄養改善を行った場合に加算がつくようになる。 これからは老人保健施設の連携していきたい。 嚥下機能について、食事の形態については普通食、刻み食等があるが、トロミについては形態がないため3段階～4段階の形態を作っていくと考えている。</p> <p>居宅介護支援事業所 利用者への説明責任の拡大 利用者の入院時には担当ケアマネの氏名と連絡先等を入院先の医療機関に伝える。 利用するサービスについて複数事業所を紹介し、プランにその事業所を位置づけた理由を記載して同意捺印してもらう。 入院時情報連携加算・・・利用者が入院して3日以内に利用者の情報を医療機関に渡す必要がある。などの改正が行われた。</p> <p>歯科 口腔衛生管理体制加算・・・歯科医師または歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が介護職員に対する口腔ケアに係る技術的助言及び指導を月1回以上行っている場合の加算(30単位/月)</p> <p>質問：歯が悪い入院患者に対しては、阿蘇市のがなは先生に訪問診療してもらっているが、小国郷の歯科の先生は訪問診療できないのか？ 甲斐田先生・・・自分一人で診療しているため、訪問診療する場合は病院を閉めていく必要があるため難しい。 糸谷先生・・・歯科衛生士と一緒に依頼があれば訪問診療に行くことはできる。児玉先生の所もできると言っていた。</p>

No	議 題	内 容
		<p>質問：入所中の方が入院した時にその部屋を使用してショートステイはできるのか？ みどりの里：入院中の家族に確認はとるが、家族としては戻ってくる意思 はあるので、してほしくないと言われる。 退所して次が入所する間であれば受け入れはできる。</p> <p>リハビリ 60日入院ができるが、リハビリとしては早く退院したほうが良い。病院 では離床の時間がなかなか取れないので、リハビリをしてもレベルが落ちるので。特に、施設入所の方は早く退院したほうが離床の時間がとれるので良い。</p> <p>薬局 老人保健施設と同じような加算があるが、現状では実績がない。</p>
2.	<p>「連携～さまざまなつながりとコミュニケーション～」 (後半)「連携」に関するグループワーク (40分)</p>	<p>① 診療報酬と介護報酬改定で変更になった点、または、今後変更する点 ② あんしんネットワークで連携すれば取れる加算</p> <p>1グループ 医療・・・スタッフと設備によって連携可能な加算になっている。 かかりつけ医との連携が不可欠 介護・・・居宅介護支援事業の管理者の要件に主任介護支援専門の資格が必要になった。 要介護認定者が多く、介護支援専門員の受け入れができない状況である。 新規・・・共生型サービスの利用、栄養改善加算（病院や介護事業所の管理栄養士の協力が必要となる。</p> <p>2グループ 介護支援連携指導料、入院時情報連携加算Ⅰ、サービス提供時間が1時間毎の単価設定になったので営業時間が30分長くなったことで、利用者さんの活動する時間増えた。 入院時情報連携については、情報ケアシートを活用している。</p> <p>3グループ 医科→歯科連携（糖尿病手帳の活用）、在宅患者訪問薬剤指導料、口腔ケア加算 歯科との連携ケアプランに口腔ケアを入れることで介護報酬と医療報酬の両方がとれる。 ケア情報シートを見直して、褥瘡についてとトロミの程度を追加したら。</p> <p>4グループ ネットワークで協力連携できそうなこと ・退院時カファレンスに薬剤師参入（退院時在宅なら加算がとれるが、施設であれば適応外） ・分配（薬）はヘルパーができない。援助なので薬局でお薬カレンダーへセットまたは最後の一包を家族にもらう ・デイで口腔指導として歯科医院にきてもらいたい。</p>

No	議 題	内 容
3.	認知症カフェ「ひとよこい」チームから	<p>全体会の意見を踏まえての「ひとよこい」のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が少ない。 ・全体会での意見では、カフェ開催日を物忘れ外来の日に合わせてはという意見が多かった。→カフェ開催日を認知症カフェと同じ日に一度実施してみる。6月14日(木)は今まで通り実施し、6月28日(木)を6月27日(水)13:00～15:00で実施。 ・カフェ実施時間を午前中で開催する件については、8月第4週目で実施予定。 ・物忘れ外来や病院にカフェ当日のチラシを貼っておく。(放送時や文字放送も活用して広く広報する。) <p>・内容のマンネリ化 認知症カフェの内容を三部構成で開催。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. お話タイム(講話) 2. ミニコンサート(カラオケ等参加者が芸を披露タイム) 3. カフェタイム(コーヒーやおやつを食べながら雑談タイム) <ul style="list-style-type: none"> ・コーヒーやおやつはカフェタイムの時に出す。 ・お話タイムの講話については、半年分のテーマを決めておく。(出前講座チームとのコラボもありうる) ・6月14日・27日の講話は、デイサービスリストより認知症と運動 or 脳トレをテーマに講話をしてもらおう。 <p>・スタッフの負担が多い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェチームのスタッフの負担が大きいため、当番はあんしんネットワークに入っている全事業所に協力してもらいで行う。 <p>3周年記念イベントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・去年は音楽療法を行った。イベントの候補として <ol style="list-style-type: none"> 1. 笑い(落語) 2. 音楽療法 3. 小国在住のアートの人に来てもらう(7色テープ) 4. 農業と認知症 など。 <p>第一候補は、笑い(落語)で講師の予定もあるので、イベントは7月後半で実施する。</p> <p>もしかすると、土曜日 or 日曜日の開催になる可能性もある。</p>
4	連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートセンター悠愛から「農福レストラン すずかれん」についての説明 ・高野病院「患者支援センター新設」について